

世界とつながる スポーツへ

アジアカップ 2017 TOKYO winner Singapore!

6月10日(土)・11日(日)、足立区生涯学習センター講堂でおはじきサッカーアジアカップを開催。国別団体戦出場国は日本、シンガポール、オーストラリア、オープン個人戦には6カ国が参加した。クラブ団体戦も行い、連日熱い戦いが繰り広げられた。試合後は対戦相手と固い握手を交わし、戦いを見届けたレフェリーとも肩を組み合った。選手たちは勝ち負けだけではなく、得難いものをこの大会で経験したようだ。

国別団体戦とオープン個人戦を制したのはシンガポール。強豪国としての強さを見せつけ、今大会で3連覇となる。日本は3位と健闘した。来年の大会に向けて力強く前進してほしい!

また、同大会中ホワイエで来場者がおはじきサッカーを体験できるブースを設けた。来日した海外選手と来場者がプレイを楽しむ姿も見受けられた。連日観戦に来た親子は、手慣れた様子でおはじきサッカーを楽しむ様子が印象的だった。去年12月に横浜で開催された日本おはじきサッカー協会主催イベントへ参加。選手とも交流し、おはじきサッカーの面白さに惹かれたそう。このアジアカップも、同イベントで知ったようだ。自分も選手として戦ってみたいと男の子。来日した海外の子どもたちとホワイエで対戦し、友人になったという。言葉は通じずとも互いの笑顔だけで十分。選手や来場者の国際交流の場となった。

今大会を皮切りに、足立区では今後もおはじきサッカーを中心に交流の場を広げていきたい。今後のイベントに乞うご期待!

足立区のどこでも、おはじきサッカーができるように――



共催・協力 新田地域学習センター
時田所長

足立区地域文化課

「アジアカップ2日間を通じて感じたことは、海外勢のレベルの高さです。なぜ彼らが強いのかというと、普段から公式戦の数をこなしているからです。環境がプレーヤーを育てます。そこでまずはクラブを増やし、クラブ内やクラブ間で切磋琢磨することが大事だと思いました。

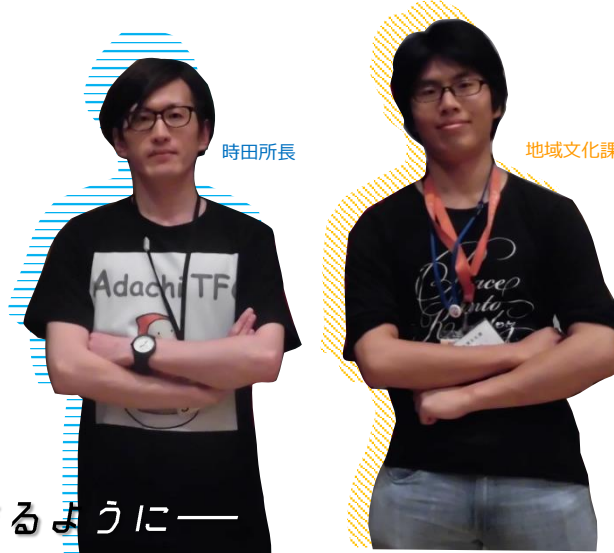
幸い足立区には14の学習センターがあります。つまりクラブ普及のためのフォーマットをすでに持っているということです。これを何とか活かしたい! センター単位でクラブを作るもよし。あるいはセンターの垣根を飛び越えてクラブを立ち上げるもよし。センターに来て、おはじきを楽しみ、練習

する。プレイ人口が増えれば試合が出来る。また選手の移籍やダービーで盛り上がりますね。

▼秋以降には『オータム トーナメント 2017 (FISTF Satellite in Adachi)』を計画中。

記念すべき日本初のアジアカップが、この足立区で行われ、おはじきサッカーの新しい時代の幕開けを感じました。

足立区のどこでも、どのセンターでも、おはじきサッカーをプレイできるよう応援していきます!



時田所長

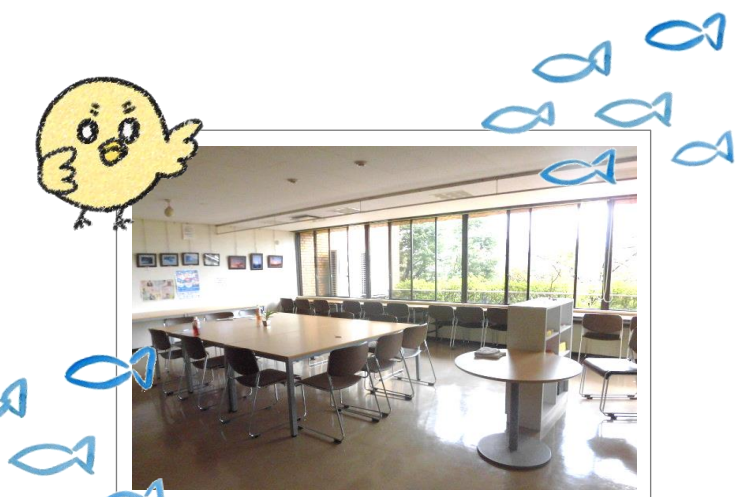
地域文化課

夏休み! こどもフリースペース はじめました。



小中学生のための
こどもフリースペースが今年もはじまります。
暑い夏でもここはいつも涼しいから
読書や勉強がはかどります。

周りの迷惑にならなければ
遊んだって、楽しくおしゃべりしたって大丈夫。
「今日はどこに行こうかな?」と思ったら
とりあえず、中央本町センターへ行こう。
みんなが知っている場所だから安心してられるよ。



夏休み期間
7月21日(金)～8月31日(木)
午前9時～午後6時
小中学生を対象に、(興本・東和を除く)
足立区内の地域学習センターで開設
詳しくは、各センターへお問い合わせください

